

EPSAQ
留学英検

米国大学奨学金プログラム 事前英語研修

English Program
for Studying Abroad Qualification

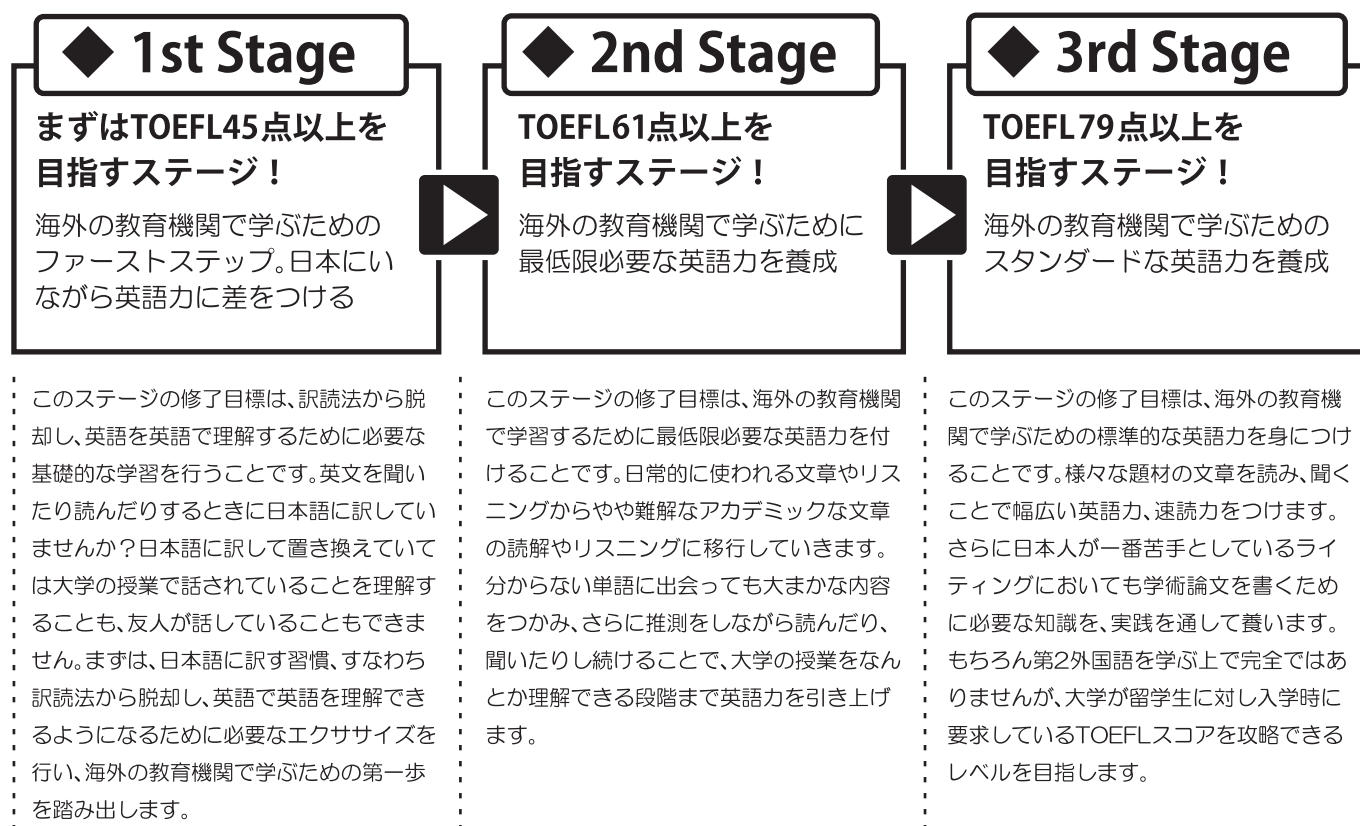


インターネットで実施する 400 時間の英語集中訓練です。
TOEFL のスコアアップに大変高い効果があります。

英語力向上の鍵

英語の能力は、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4つのスキル(技能)に分けることができます。このうち、リスニングとリーディングは Receptive Skills、スピーキングとライティングは Productive Skills と呼ばれます。Productive Skills の学習、特に Speaking の学習は、人との Interaction(交流) が必要で、なかなか独学できるものではありません。それに対して、Receptive Skills の練習は、本やコンピュータを使った独学に適しています。読んだり、聞いたりする題材があれば、そばに先生がいなくても学習を進めることが可能です。また、4つのスキルは、互いに独立したスキルではなく、高い相関関係を持ったスキルです。つまり、リーディングのよくできる人は、多少のばらつきはあっても、リスニングやスピーキングも一般的によくできるものです。別の言い方をすれば、リーディングの学習をすれば、他のスキルも同時に伸びるということです。さらにいうと、人は、その人の持つ Receptive Skills より高いレベルで Productive Skills を発揮することはできません。言い換えれば、その人が聞き取れるレベル以上の英語を話すことはできないということです。したがってまずは英語の基盤となるリスニングとリーディングの力を上げることが、英語能力向上の鍵といえます。

文法は、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4つの技能の中に含まれていません。文法の知識は、正しい表現の文を作ったり、文が正しいか否かを判断するのに必要です。したがって、スピーキングやライティング、特にライティングには、しっかりした文法を身につけていることが絶対に必要です。もちろん、リスニングやリーディングにも文法の知識は必要です。文法と、リスニングやリーディングは、テニスで言えば「ルールブック」と「実際にボールを打つこと」に相当します。ルールをいくら覚えていても、練習をしなければ上達は絶対に不可能です。同じように、文法の学習で得られた知識は、リスニングやリーディングなどの言語の運用能力に役立つものにしなければいけません。そして、これはリスニングやリーディングの「練習」をすることによってのみ、なし得るのです。



実際に留学英検のプログラムを見てみよう！
 解説付き、留学英検プログラム デモ版 ホームページ
<http://www.ryuken.org/flash/epsaq.html>



留学英検講座には、3段階のステージ（レベル）がありますが、学習する科目については同じ4つの科目です。

Grammar
＜文 法＞

Listening
＜聞く力＞

Reading
＜読む力＞

Writing
＜書く力＞

左の4つの科目それぞれに、16 の Unit（課）があります。
1 つの Unit に Practice（学習）と Confirm（確認問題）があります。

そのため留学英検講座の学習進度表は、ステージごとに下のような表示になります。

1st Stage		Level English Proficiency TOEFL CBT 120 below																← 1st ステージ	
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16		
Grammar	PRACTICE CONFIRM																		
2nd Stage		Level English Proficiency TOEFL CBT 121 - 140																← 2nd ステージ	
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16		
Listening																			
Reading	Grammar	PRACTICE CONFIRM																	
Writing																			
3rd Stage		Level English Proficiency TOEFL CBT 141 - 160																↓ 3rd ステージ	
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	ES	
Listening																			
Reading	Grammar	PRACTICE CONFIRM																	
Writing	Listening	PRACTICE CONFIRM																	
	Reading	PRACTICE CONFIRM																	
	Writing	PRACTICE																	

4つの科目

学習と
確認問題

各Unit の学習（Practice）を修了した後、Unit の内容をしっかり理解できているかどうかの確認問題（Confirm）を行ないます。確認問題（Confirm 1）では70点以上が「PASS」です。確認問題はPracticeで学習した問題の中から出題されますので、Practiceをきちんと学習すれば、「PASS」は容易なはずですが、70 点以上の点数が取れなかった場合は、再度Practiceに戻って学習した後、改めて確認問題（Confirm 2）を行なうことができます。

2 回目の確認問題は1 回目の確認問題（Confirm 1）で70 点未満の場合のみ表示されます。2 回目の確認問題（Confirm 2）の合格点（C 評価2.0）は80 点です。2 回目の確認問題（Confirm 2）では、90～100 点の場合でも成績はB評価3.0 となりますので、できるだけ確認問題（Confirm 1）で修了できるように、何度も練習問題を行なうようにします。Writing には確認問題（Confirm）がありません。Unit ごとの提出課題に回答し、講師に提出をしていただきます。70 点以上の判定であれば「PASS」となりますが、それ以下の場合は、再提出となります。

留学英検講座修了のための評価については次のとおりです。

	1 回目の確認問題（Confirm 1）の場合	2 回目の確認問題（Confirm 2）の場合
90～100 点	評価『 A 』 4.0 ポイント	評価『 B 』 3.0 ポイント
80～89 点	評価『 B 』 3.0 ポイント	評価『 C 』 2.0 ポイント
70～79 点	評価『 C 』 2.0 ポイント	評価『 D 』 1.0 ポイント
60～69 点	評価『 D 』 1.0 ポイント	70 点未満は評価『 F 』 0.0 ポイント
60 点未満	評価『 F 』 0.0 ポイント	

修了の条件は、受講期間内に各ステージのGrammar、Listening、Reading 全ての確認問題（Confirm）を修了、及びWriting の提出課題を全て提出し、「PASS」の評価を得ることです。

Grammar
＜文法＞

Grammar（文法）は、16のUnitから成り立っています。
各Unitの重点学習事項は右一覧のとおりです。

【文法の学習事項一覧】

Unit 1 文の基礎	Unit 9 分詞と分詞構文
Unit 2 名詞・冠詞・代名詞	Unit 10 句動詞
Unit 3 形容詞・副詞・比較表現	Unit 11 助動詞
Unit 4 前置詞と接続詞	Unit 12 関係詞
Unit 5 不定詞と動名詞	Unit 13 仮定法
Unit 6 進行形と受動態	Unit 14 特殊な構文
Unit 7 基本時制	Unit 15 語法
Unit 8 完了時制	Unit 16 総復習

【文法学習の概要】

GrammarのPractice では、問題演習形式を中心にして進めていきます。文法を身につけるためには、教科書や参考書を読むだけでなく、練習問題を中心に学習することが効率的です。とはいえ、新たな知識を身につけるために問題を解いて行くのですから、初めて見た時には答えられないものの方が多いことと思います。そのため問題を解くためのヒントを見ながら、学習していくこととなります。下のバーにある [REF] ボタンを押すと、そのページの問題を解くために知っておくべき表現とその解説を見ることができます。

Practice は、Part A, Part B, Part C の3つのパートからなっています。Part A は、より基礎的な学習項目、Part B はそれよりも応用的な項目が含まれています。Part C は、“Sentence Completion” と “Error Detection” の2つからなっています。これは、TOEFL の問題形式に対応するものです。このパートでは特別な場合を除き、ヒントは出しません。Part A と Part B で学んだことをもとに、チャレンジしてください。

EPSSAQ Grammar Unit04

前置詞と接続詞 Introduction

1 この課では、前置詞と接続詞の基礎を学

接続詞と前置詞

前置詞は後ろに名詞的な語句を従えて、ある一定の意味を持った語句のまとまりを形成するものです。接続詞も後ろに語句を従えますが、前置詞との違いは、接続詞は文を従えることです。前置詞で始まる語句のかたまりを前置詞句、接続詞で始まる語句のかたまりを従属節といいます。

前置詞句:
in the house (「家の中で」), at five o'clock (「5時に」) など
従属節:
when I was a child (「私が子供の時に」), if it is fine (「晴れれば」)

等位接続詞

上で述べた接続詞と違い、and, but, or は、語と語、句と句、
There are [a book and a pencil] on the desk.
「机の上に本と鉛筆がある」
Is he rich or poor?
「彼は金持ちですか、それとも貧乏ですか」

Both A and B など

both, either, neither などの語は、and や or のような(等位)接
both A and B「AもBも両方とも」
either A or B「AかBかどちらか」
neither A nor B「AもBもどちらも...ない」
not only A but (also) B「Aだけでなく、Bも」

インターネット上の学習
画面のサンプルです。
(Grammar)

前置詞と接続詞 Part A (場所を表す前置詞)
空所に適切な前置詞を入れなさい。

1 I saw her [] the station.
私は彼女を駅(のあたり)でみかけた。

2 Where do you come []?
どこ出身ですか？

3 They arrived [] Japan yesterday.
かれらは昨日日本に着いた。

4 They arrived [] the school yesterday.
かれらは昨日学校に着いた。

5 The moon is sinking [] the horizon.
月は地平線の下に沈みつつある。

6 The sun rises [] the east.
太陽は東から昇る。

7 There is a picture [] the wall.
壁に絵が掛かっている。

8 He lives [] Tokyo [] Japan.

Listening
＜聞く力＞

流れてくる英語を聞き流すのではなく、会話やスピーチから必要な情報を得ようとしながら聞く方が、効果の高いトレーニングになります。いろいろな演習問題を通して、より効率的なリスニングの訓練を実施します。

エクササイズは、いくつかの Conversation と Talk、そして Dictation から成り立っています。それぞれ次のようなエクササイズを通してリスニングの練習をしていきます。

1. Listening Comprehension

問題を見る前に、まず聞きます。スピーカーのマークをクリックすると音が流れ始めます。問題に答えたあとに、何回も聞き返して何度も確認やトライをしてください。
[JUDGE] ボタンを押すと、正誤判定が現れます。
また、[ANS] ボタンを押すと、正解を知ることができます。

2. Words & Phrases

単語や熟語を多く知っていることは、リスニングにとっても大事です。聞き取れない部分は、知らない言い回しの部分であることが多くなります。そのため重要表現の練習が役立ちます。耳で聞いた文章が難しい場合、このエクササイズのあとに聞くとわかりやすくなります。

3. Information Gap

このエクササイズでは、会話の所々でセリフが隠され、その代わりに “Question 1” といった言葉が聞かれます。その部分で、どのセリフを当てはめたら会話か自然に流れるかを判断します。隠されていない部分では、全体を流して、あるいは部分的に聞くことができます。

4. Cloze Exercise

穴埋め問題です。音を聞きながら埋めればよいわけですが、実は、言葉というものは野論通りに、つまり発音記号の通りに発音されていることはめったにありません。正確な穴埋めをするには、語彙や文法の知識が必要になります。このエクササイズは、文法の練習でもあるといえます。

5. Final Listening

Listening Comprehension と同じです。
エクササイズが終わったあと、確認のためトライします。

6. Repeat After Me

1つ1つのセリフを分けて聞くためのボタンを押すと原稿を見ることができます。また、下のバーにある [ANS] のボタンで全てのセリフのスク립トを見ることができます。なるべくスク립トを見ないで練習することを心がけます。

7. Role Playing

女性のセリフを聞いたあと、男性のセリフを自分で発話するパターンとその逆パターンがあります。Practice で話されていることとそっくり同じことをしゃべる必要はありません。それまでに自分が聞き取れたことをもとに話をするのが大切です。

Reading
＜読む力＞

Reading学習の目的は、読む力をつけることです。単語・熟語をたくさん知っていることは大切なことですが、読むスピードもそれに劣らず大切です。読むスピードが遅ければ、とても授業についていくことはできません。そのため、知らない語句が出てきても意味をGuessしながら、内容を把握する力を養う必要があります。本プログラムでは、多様なエクササイズを通してパッセージを読み進み、語彙の増加と同時に、読むスピードのアップに役立つ練習をしています。

EPSAQ Reading Unit05

Text Comprehension Routine Reading 1

1 The author thinks that materialism is
 (A) ridiculous.
 (B) always bad.
 (C) a good thing.
 (D) necessary.
 (E) not so bad.

2 The author is in
 (A) high school.
 (B) college.
 (C) graduate school.
 (D) elementary school.
 (E) nursery school.

3 The author feels that you should have what kind of attitude toward the material world?
 (A) value-oriented
 (B) appreciation
 (C) depreciation
 (D) condescension
 (E) Holistic

4 Some of the author's classmates say that Americans

1、Text Comprehension

一般的な読解問題です。問題にどれくらい答えられるかが、そのパッセージの理解度の大まかな目安になります。当然のことですが、パッセージを何回も読み直したり、分からない単語・熟語を調べたりすることにより、理解度は上がります。

2、Words & Phrases

パッセージの中にでてくる重要単語や重要熟語を覚えるためのエクササイズです。単語・熟語を覚えて語彙を増やすことはとても重要です。このエクササイズで集中的に単語・熟語をたくさん覚えましょう。

3、Sentence Completion

Text Comprehension で読んでパッセージを、さらに深く読むとともに、前置詞や冠詞の使い方に対する感覚を養っていくためのエクササイズです。前置詞や冠詞は、こういった語句といっしょに使われるかで決まるため、数多くの例文に接することのみ、身につけることができるものです。

4、Paragraph Ordering と Sentence Ordering

文章には流れや構成といったものがあります。そのため、文章全体がどういう流れで書かれているのかを把握しながら読むことがとても大事です。このエクササイズは、文の大きな流れを理解するためのものです。さらには、文脈を把握することにより、文章の正しい理解を確認するためのエクササイズでもあります。

5、Final Reading

エクササイズを全て行った後に、確認のためにを行います。基本的には、Text Comprehension をもう一度、繰り返すことになります。この時点では、全ての問題に自信を持って答えられるようになっていなくても構いません。

Writing
＜書く力＞

Writingでは英文エッセイの基本事項を修得し、構成のまとまった基礎的な文章を書けるようになることを目標としています。今まで、まとまった英文エッセイを書いたことのない人でも学習を進められるような構成です。他の3つの科目と違い、課題を提出していただき、その添削を行います。

EPSAQ Writing Unit7

Past and Present events (過去と現在の出来事) (1) Past Tense, Perfect (過去時制、現在完了)

A. まず、下の reference をクリックし、そこに出てくる「完了基礎項目」を読みましょう。

B. Writing in Past Tense and Present Perfect 1 (過去形と現在完了形の練習 1) 英作をしましょう。

(1) 昨日、公園に行きました。

(2) Lucy はパーティーでとても楽しかったです。

(3) 失敗談はありますか。

(4) 車は昨日、壊れたのですが、今朝修理したので、直っています。

(5) 君はセブンスグレイブで何を勉強したの？

EPSAQ Writing Unit6

Giving Information (情報を与える) (5) Using sources

英語の論文では本、雑誌、その他から取ってきた言葉やセリフを引用した場合はその出典を明らかにする必要があります。一般的には (1) 内に入れて、雑誌、本の名前、その出版年を明示します。

(1) Practice
 上の引用をその下のパラグラフ内に入れて、全文を書きましょう。
 (1) A study has shown that children without TV develop their own creative powers. (Jack Gates, Reminder 1990, 95)
 (2) It is quite often the case that kids have been shown to learn violence from TV. (Peter, Johnson, Monitor 1995, 25)

TV has a tremendous influence on kids. Though unbelievable, American kids usually spend more time watching TV than doing any other things while awake.
 They become so dependent on TV for their entertainment that they begin to lose their creativity. Once they are left to watch TV freely, it gets harder and harder for parents to limit their kids' TV watching.
 Many people are also worried about the high percentage of programs that highlight violence. Other people are afraid of their kids' permanent exposure to sexual matters shown on TV. Kids' curiosity may cause unwanted troubles such as teen-age sexual intercourse and rape.
 In short, the negative effects of TV probably outweigh its possible positive influence in presenting the world to the growing kids.

わからない時はRef (リファレンス) を読みながら英文を書きます。

課題を提出すると、添削のうえ返信されます。講師からの指導も楽しみの1つです。

【英作文の学習事項一覧、全16回分】

1. Self-Description (Introduction/自己紹介)
2. Daily Activities - Time order/時間順に日常生活を描写
3. Describing people/人物の容姿や性格を描写
4. Writing about Places/場所について (前置詞や副詞の用法)
5. Personal & Business Letters/手紙の書き方 (個人とビジネス)
6. Giving information (Physical condition/物事の定義の仕方)
7. Past events (School memories/過去の思い出)
8. Time order (Autobiography/時間順の応用表現)
9. Instructions/「指示・説明」の仕方や道順などの表現
10. Rank order/情報を重要度に応じて並び替える方法
11. Opinions/自分の意見の展開方法 (客観的・主観的の使い分け)
12. Reporting/報告文の書き方
13. Summary Writing/要約の仕方
14. Essayの基礎/まとまったエッセイ形式の文章を書く方法
15. Essay (1)/課題ごだったエッセイの制作
16. Essay (2)/次の課題ごだったエッセイの制作

1stステージでは短文が中心ですが、3rdステージになると長文の英作文になります。大学出願の際に提出するエッセイとして利用することができるレベルです。

【各試験とのレベル比較／参考】

留学英検	1stステージ	2ndステージ	3rdステージ	
英語検定	英検2級	英検準1級	英検1級	
TOEIC®	340	480	630	770
IELTS	4.0	4.5	5.5	6.5
TOEFL® IBT	32	45	61	80
CBT	103	133	173	213
PBT	400	450	500	550

あくまで参考資料です。
各試験は目的が異なるため、
正確には比較できません。

【留学英検の学習レベル】

1st ステージでは、中学・高校で学んだ英語力の確認と、それをもとにした英語的発想や使い方をトレーニングします。

修了時には英検2級やTOEFL® 45点とほぼ同等です。

2nd ステージでは、実践的に読む力のスピードアップや単語力の増強をトレーニングします。

修了時には英検2級の上位から準1級の中位、またはTOEFL® 61点とほぼ同等です。

3rd ステージでは、アメリカの大学の教養課程で使われるレベルの英語をトレーニングします。TOEFL®を意識した問題も多く含まれます。

修了時には英検準1級中位から英検1級、またはTOEFL® 79点とほぼ同等です。

留学英検講座はインターネット（パソコン）を使う学習ですので、右のような性能のパソコンと通信環境が必要です。

OS
Windows7 以降
Mac OSX 10.6 以降
iOS6 以降
Android5 以降

ブラウザ
Internet Explorer、Edge、Chrome、FireFox、Safari の
最新バージョン

●よくある質問と回答

Q1. 留学英検講座はどのようにして学習するものですか？

A1. 留学英検はインターネットにアクセスし、学習の履歴を記録します。そのためパソコンや、タブレットでの学習が可能です。ネット環境さえあればいつでも・どこでも学習可能です。

Q2. 留学英検講座はいつからスタートできますか？

A2. 留学英検はいつ、どのタイミングからでもスタートできます。自由なタイミングでお申込みいただき、大学入試の英語対策や、留学準備に役立てていただくことができます。

Q3. 留学英検講座の学習量はどのくらいでしょうか？

A3. 留学英検講座は3ステージに分かれており、それぞれが400時間の標準学習時間を想定しています。実際の学習時間には個人差がありますが、4～6カ月間の学習が必要です。

Q4. 具体的に留学を考えていない人にも留学英検講座は適していますか？

A4. 留学英検講座は日本の大学入試の英語科目対策にも大いに役立ちます。高校在学中に留学英検を受験することで、英語力に試験の比重をかけている大学の選考の対策にもなり、将来の海外留学での英語力養成にも、つながっていきます。





—略歴—

2018年3月 高校卒業

2018年6月 留学英検 2nd Stage 受講開始

2019年1月 Lindenwood University ESL 入学

2019年9月 Lindenwood University 学部課程入学

Q1、いつ頃、どうして海外の大学に進学したいと思いましたか？

海外、特にアメリカの大学に対する憧れはかなり前からありました。特に、中学生の時にホームステイをした事、高校生の時に海外研修でカリフォルニアを訪れた事がその気持ちを強くさせる強い要因になった気がしています。しかし、恥ずかしながら日本の受験がうまくいかなかった事も1つの大きな理由です。行きたかった大学のほとんどがアメリカのシステムを取り入れようとしている事も海外の大学への進学を意識したきっかけです。一年浪人するなら、よりクオリティの高く得られるものが多いアメリカに留学しようと思いました。

Q2、高校卒業時の英語力はどのくらいありましたか？

とりわけ英語ができる訳ではありませんでした。受験に対応した英語の勉強をしていたのである程度の読み・書きは勉強しましたが、長文読解の時は意味を類推しながら解いていたので単語力はまるでありませんでした。実際に留学する上で必要なスピーキング力とリスニング力は皆無だったと言っても過言ではありません。英語の成績が悪い方だったかと聞かれたら、そういう訳でもありませんが英語が好きだったわけでもありませんし本当に人並み程度だったと思います。

Q3、留学英検プログラムが大学での授業受講に際して役立つなと感じたことはありますか？

ライティング課題に関しては聞かれた題材がほぼそのまま ESL の宿題のトピックになったこともありますし、先にやっておいて良かったと思った事があります。日本での学習ではなかなかライティングの力を伸ばすことが難しいため、添削指導を受けられる留学英検での勉強は今に活きていると思います。文法に関して実際にどれだけ理解してるのか使えるのかを確認できるので為になりました。また、反復学習なので、英語力は着実に定着していくのを実感しながら勉強を進めることができました。レベル別になっていることで、自分の英語力に合わせて学習ができ、かつオンライン教材なので、空いた隙間時間に勉強ができて、効率もよく勉強できました。

Q4、留学英検プログラムで英語力が伸びた実感はありましたか？

自分で勉強するのと違い、やる事が明確になっているので一つ一つ着実にクリアしていくことで、達成感とともに習得の実感はありました。大学の ESL でも英語力の伸びは実感できています。僕の場合、TOEFL などのスコアを取らずに来たので学部課程に直接進めた訳ではありませんでしたが英語を勉強する上で ESL 並みに良い環境は数少ないかもしれません。アメリカの授業や環境、勉強の仕方等も学び、慣れる事が出来るのですごく為になっています。TOEFL を取っていきなり本当の授業を受けるよりは英語力の無かった僕にとってはよかったと思っています。

◆ Welcome to EPSAQ

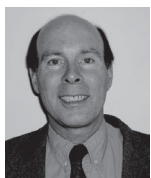
As chief editor of EPSAQ, I have watched over a dedicated team of educators, writers, language specialists, and computer experts as together they fashioned this program. The program is a one-year-long course of English study that is designed to prepare you for entrance into American, British, and Australian colleges.

EPSAQ is designed especially for Japanese, and addresses the problems and strengths typically seen in Japanese students after six years of English study in middle school and high school. EPSAQ has a number of great advantages over conventional course of study:

- It integrates a variety of language skills into a comprehensive program that guarantees, on successful completion of the course, an advanced level in English.
- Graduated levels of reading, grammar, and listening are presented in an interactive manner. Explanations and answers to problems are available at the click of your mouse; you progress is automatically tracked within the program.
- The program is accessed via the Web, so you can use the course ANYTIME, ANYWHERE, day or night. You go at the pace right for you.

The course is designed to be a full-time course of study (20 ~ hours per week). You may wish to go faster or slower, but be assured that you will be challenged in this course.

The contents are built around three levels. By the time you successfully complete the highest level, you will be ready to enter and study at a college or university overseas.



This course also offers other benefits. It will raise your TOEFL score, as it is similar to a TOEFL preparation course. We have spent more than two years preparing this course to suit your needs. I wish each of you great success with this course and with your futures!

William Rozycki, Ph.D.

◆ ようこそ、留学英検講座へ

私は留学英検講座の編集長として、このプログラムの制作に関わりました。制作にあたっては、教育者、研究者、言語学の専門家、及びコンピュータの専門家が集まっています。そして、アメリカ、イギリス、オーストラリアの大学へ入学するための1年間の英語コースとして完成したのが、このプログラムです。

留学英検講座は特に日本人向けに制作したものです。日本では中学と高校の6年間英語を勉強しますが、日本人特有の問題点や優れた点があります。それらを十分に考慮しながら制作したため、次のような大きな特徴があります。

- 言語能力を総合的にトレーニングすることで、修了時には高いレベルの英語力が保証されます。
- 読む力、聞く力、文法の学習については、インターネットを使うため、マウスをクリックするだけで、その場で解答解説を参照できます。また、学習の進み具合や理解状況がプログラムに記録され、いつでも確認できます。すなわち一方的な独学ではなく、一緒に学習している感覚です。
- インターネットでの学習が中心なので、24時間いつでも、どこでも学習できます。そのため、自分のペースで学習を進められます。

留学英検講座は1週間に20 ~ 25時間の学習時間を想定しています。もちろん自分の考えで速いペースや遅いペースで学習して構いません。けれども、だからこそチャレンジングなプログラムだといえます。

留学英検講座には3つのレベルがあります。一番高いレベルの3rdステージを修了する頃には、海外の大学へ入学しても十分に英語が通用することでしょう。

また、留学英検講座の学習内容はTOEFL®対策講座としても利用できるほどTOEFL®のスコアアップに効果があります。私たち留学英検講座の制作チームは2年以上の年月を費やし、日本人の留学に最適なプログラムを完成させました。

皆様が留学英検講座を通して、輝かしい未来を手に入れられるよう、心から期待しています。

ウィリアム ロジスキー 博士

【 留学英検講座・執筆者 】

Director:

Izumi Yanagida, Ph.D. Cand. (Indiana University)

Chief Editor:

William Rozycki, Ph.D. (Indiana University)

Assistant Editors:

Larry Clark, Ph.D. (Indiana University)

David Macfarlane, M.A. (Utah State University)

Paul Rozycki, M.A. (University of Minnesota)

Chris Ryal, B.A. (University of British Columbia)

Main Writers:

David Fish, Ph.D. (University of Michigan)

Tetsuro Mizutani, Ph.D. Cand. (Indiana University)

Stephen Ford M.A. (University of Wollongong)

Toshihisa Kojima, Ph.D. Cand. (Indiana University)

Bruce Leeds, Ph.D. (Indiana University)

Gabrielle Goodwin, M.A. (University of Utah)

Steve Mierzejewski, M.A. (Portland University)

Patrick Nolan, M.A. (Indiana University)

Hitomi Ohshita, M.A. (University of Tokyo)

Mary Theresa Seig, Ph.D. (Oklahoma State University)

Mark Siemelink, M.Sc. (University of Canterbury)

Margaret Sokolik, Ph.D. (University of California, Los Angeles)

【重要】この書面は、「特定商取引に関する法律」の定めにより作成し交付するものです。重要な内容ですので、十分お読みいただき、大切に保管くださいますよう、お願いいたします。

サービス概要

*募集時期

通年(一部のステージでは、時期を特定して募集する場合もあります。)

*受講時間

24 時間、365 日いつでも受講可能です。

ただし、サーバのメンテナンスなどのために、一時緊急的に本サービスを停止する場合があります。予定されたメンテナンスに関しては、1 週間前に掲示板により通知します。

*事務局受付時間

平日 午前 10 時 00 分～午後 6 時 00 分

*事務局休日

土曜日、日曜日、国民の休日、お盆休み、年末年始

(1) プログラム

- ・留学英検ファーストステージ(Basic)
- ・留学英検セカンドステージ(Intermediate)
- ・留学英検サードステージ(Advance)

(2) 学習に必要な環境に関して

- ・インターネットに接続できる環境(パソコン、モデム、電話・通信回線など)

(3) 留学英検のカリキュラムに関して

・教材

URL : <https://www.ryuken.org/member/lms/> からアクセスできます。学習の仕方に関しては、操作ガイドブック、学習ガイドブックをご参照下さい。

- ・留学英検は、Grammar, Listening, Reading, Writing の 4 つのセクションから成り立つ 3 つのステージ(段階・レベル)で構成されています。

- ・Writing を除く各セクションは、16 の Unit(課)からなり、Unit ごとに Practice(練習問題)と Confirm(確認問題)の学習コンテンツがあります。

- ・各 Unit の Practice の全ての学習を修了した後、該当 Unit の内容をしっかり理解できているかどうかの確認問題を行います。確認問題の Confirm 1 で 70 点以上の点数が取れなかった場合は、再度、Practice を学習した後、改めて確認問題の Confirm 2 を行うことができます。

- ・2 回目の確認問題 Confirm 2 は、1 回目の確認問題 で 70 点未満の場合のみ表示されます。Confirm 2 の合格点(C 評価 2.0)は 80 点です。また、90 ～ 100 点の場合でも成績は B 評価 3.0 となりますので、出来るだけ Confirm 1 で修了できるように、何度も練習問題を行うようにしてください。

- ・Writing には、Confirm はありませんので、Unit ごとにある提出課題に回答し講師に提出をして頂きます。70 点以上の判定であれば、Pass となりますが、それ以下の場合は、再提出となります。

(4) 学習量・学習時間

- ・各ステージの標準的な学習時間は 400 時間となっています。
- ・契約期間は 6 ヶ月となります(毎月 20 日までに申込書を受諾した場合、翌月 1 日より、契約開始となります)。1,500 円(税別)の再登録手数料を支払うことで、さらに 6 ヶ月間の延長受講ができます。

(5) 評定の付け方について Confirm 1 の場合 Confirm 2 の場合

90 ～ 100 点	A	4.0 ポイント	B	3.0 ポイント
80 ～ 89 点	B	3.0 ポイント	C	2.0 ポイント
70 ～ 79 点	C	2.0 ポイント	D	1.0 ポイント
60 ～ 69 点	D	1.0 ポイント	70 点未満は 0 ポイント	
60 点未満	F	0 ポイント		

(6) 修了の条件

- ・受講期間内に、各ステージの Grammar, Listening, Reading 全ての Practice と Confirm を修了し、Confirm の全ての平均成績値(GPA)が 2.5 ポイント以上、及び Writing の提出課題を全て提出し「PASS」の評価を得ることを以て、留学英検受講の修了となります。

(7) 補助教材に関して

申し込み手続き完了後、当社が申込内容を確認の上問題がないと判断した場合、2 週間ほどで留学英検事務局より、教材一式とアクセス用の ID が送られます。パッケージの中には、次のものが入っています。

A) リスニング用データ CD (各ステージ 1 枚ずつ)

NETWORK から音声を聞くことは出来ますが、このデータをパソコンにダウンロードしたり、CD をドライブに挿入したりすることでより高い音質で学習が可能となります。

B) 学習補助教材 リーディングマテリアル(各ステージ 1 冊ずつ)

Reading で使われた本文や重要事項などをまとめた教材です。通学通勤時などの学習時にご利用下さい。

C) 学習補助教材 Audio CD

1st Stage は 2 枚、2nd Stage は 3 枚、3rd Stage は 4 枚あります。

Listening で使われた Conversation や Talk をまとめたものです。通学通勤時など何回も繰り返し聞くことにより学習効果をより高めるようにご利用下さい。

- お申し込んだ講座が、満席・品切れ・変更になる場合もございます。その場合には留学英検事務局からご連絡させていただきます。

- お届けした教材がお申し込み講座と異なる場合、乱丁・落丁の場合はお取り替え致します。

(8) お支払いについて

お支払い方法：前納制

授業料・教材費の詳細およびお支払方法は別紙をご覧ください。

(9) ご契約について

○クーリング・オフ

- ①契約書面を受領した日を含め 8 日以内(土・日・祝を含む)に、書面により契約の解除を行うことが出来ます(以下、この解除を「クーリング・オフ」といいます)。但し、当社が不実を告げることににより誤認したり、当社が威迫したことにより困惑したりした結果、クーリング・オフが行使されなかった場合、当社が再度クーリング・オフの出来る旨を記載して交付した書面を受領した日から 8 日間が経過しない限り、クーリング・オフ出来るものとします。
- ②クーリング・オフは、クーリング・オフに係る書面を出して頂いたときに効果が生じます。
- ③クーリング・オフがあった場合、当社は、損害賠償又は違約金の支払いを請求することは出来ません。
- ④クーリング・オフがあった場合、既に本サービスの提供があったとしても、当社は既に提供したサービスに係る対価その他の金銭の支払いを請求することは出来ません。
- ⑤クーリング・オフがあった場合、当社は支払い額の全額を速やかに返還します。
- ⑥クーリング・オフがあった場合、当社に対し、関連する教材等を速やかに返還するものとします。この場合に返還にかかる金額は、当社の負担とします。
- ⑦ご受講期間が 2 ヶ月以下または、支払い総額が 5 万円以下のプログラムはクーリング・オフの適用外となります。

○中途解約

本サービスの提供が開始され、クーリング・オフ期間が経過した後でも、将来に向かって、本サービスに関する契約を中途解約することが出来ます。(解約のご請求は、当社所定の書面により、次回の受講日の 7 営業日前(休日、祝日、休校日は換算しません)までにお願いたします。7 営業日以内に予定されていたレッスンは受講されたものとみなします。)

当社は、当社が提供した本サービスの対価及び、当該解約によって通常生ずる損害の額又は契約の締結及び履行のために通常要する費用の額にこれらに対する遅延損害金の額を加算した金額を超える額の金銭の支払を請求することはできないものとします。解約手数料及び精算方法は、後述します。

※当社が関連商品の販売又はその代理若しくは媒介を行っているときは、関連商品販売契約についても、当社に申し出ることにより、中途解約を行うことが出来ます。この場合、当社は関連商品の通常の使用料に相当する額、関連商品の販売価格に相当する額又は契約の締結及び履行のために通常要する費用の額にこれらに対する遅延損害金の額を加算した金額を超える金額を請求する事は出来ません。

○前受金の保全措置

前受金に対する保全措置は講じておりません。

○解約手数料

解約手数料は、お支払い済授業料から受講実績額(受講期間に応じて決定します。本教材は、6 カ月契約であり、授業料を 6 等分し、受講月数に乗じて計算します)を差し引いた残高額の 20%、または 5 万円(消費税別)のいずれか低い額とします。受講開始前の場合は、一律 1 万 5 千円(消費税別)とします。

受講期間が残っている場合でもカリキュラムの 80%を終了している場合は、返金の対象にはなりません。尚、テキスト教材は、返金の対象にはなりません。開封した CD 教材は、原則として残存価値はないものとし、返金の対象にはなりません。但し、開封していない CD 教材が返還された場合、以下の価格を返金の対象とします。

1st ステージ	リスニング用データ CD	¥4,600
	学習補助 Audio CD 1 枚	¥16,500(全 2 枚、合計¥33,000)
2nd ステージ	リスニング用データ CD	¥4,600
	学習補助 Audio CD 1 枚	¥11,000(全 3 枚、合計¥33,000)
3rd ステージ	リスニング用データ CD	¥4,600
	学習補助 Audio CD 1 枚	¥8,250(全 4 枚、合計¥33,000)

以上から、解約に伴い返還する料金の算出方法は次の通りとなります。

返還料金 = 支払済授業料 - (受講実績額 + 解約手数料 + 教材費) + 未開封 CD 教材にかかる上記の返金額

※上記式の「教材費」は、テキスト教材及び開封された CD 教材の代金相当額とします。

○コース変更

お申込をされた講座が著しく受講生のレベルに合わない判断された場合、かつ、受講開始日より 4 週間以内、受講講座は 4 Unit 以内の条件を満たし、修了した各 Unit のテスト正解率が全ての Unit において 90%以上の場合には、ひとつ上のコースへの変更を認めます。但し、教材に関しては、買取の対象外となり、本人が負担するものとします。

○コース延長

契約期間が過ぎてしまった場合でも、受講期間の延長が可能です。延長受講申込書に 1,500 円(消費税別)の再登録手数料を添えて留学英検事務局までお申し込み下さい。

○受講場所(国)

留学英検の受講は、日本国内在住の方のみが対象となります。海外からの受講をご希望の場合はお問い合わせください。

○休学制度

休学制度はありません。事故・病気など止むを得ない事情により期間内に終了できない場合は、VOICE 画面よりお問い合わせ下さい。

○不正行為

受講システムの秩序を著しく乱す行為(不正アクセス、カンニング)または学習者として自己努力を大きく欠いた行為があり、十分なカウンセリングの後でも改善の見込みがない場合は退学していただくことがあります。退学者への返還

金は当社の中途解約の規定によります。

○受講期限

各ステージの受講期間は、最短 4 ヶ月、標準 6 ヶ月で修了できるように構成されています。受講期限の 6 ヶ月以内に修了出来なかった場合やさらに延長受講を希望される場合は、再登録料(1,500 円・消費税別)をお支払い頂くことでさらに 6 ヶ月の延長受講が可能です。延長受講は、1 回のみ可能とします。

利用規約

第 1 条(はじめに)

この規約(以下「本規約」といいます。)は、全研本社株式会社(以下「当社」という)が、提供する留学英検プログラム(以下「本サービス」という)を利用するお客様(以下「利用者」という)の権利と義務が規定されています。本サービスを利用されるすべての利用者は、本規約の内容を承諾したものとみなします。

第 2 条(本規約の適用範囲および変更)

本規約は、本サービスを利用されるすべての利用者に適用されます。当社は、利用者の承諾を得ることなく、本規約を変更することがあります。利用者は、当社が本規約を変更することをあらかじめ同意します。当社は本規約を変更した場合、別途規約を規定した場合は、その内容を利用者に通知します。

第 3 条(申込時の注意)

お申込・配送は日本国内に限りです。海外からのお申し込み、配送をご希望の場合は、販売代理店または info@ryuken.org にお問い合わせ下さい。

第 4 条(契約の申し込みと成立)

- (1) 本サービスの申し込みは、申込希望者が、当社に対して、本規約に基づき、所定の「留学英検プログラム」申込書を作成し提出し、かつ所定のプログラム費用を支払い、当社が、申込書の提出ならびにプログラム費用の支払いを確認したときに完了するものとします。
- (2) 当社は、前項の申し込みを確認後、当社所定の審査を経た上で、当社がこれを承認したとき、利用者として登録されるものとします。
- (3) 申し込みを行った者が下記のいずれかに該当する場合、または、利用者として登録後、下記のいずれかに該当すると発覚した場合、当社は、申し込みを拒否し、または利用者としての登録を抹消することが出来るものとします。

- ・ 本規約に違反する場合
- ・ 申し込まれた情報に虚偽、誤記または記載漏れがある場合
- ・ 過去に本サービスの登録を抹消された者である場合
- ・ 反社会的勢力であると判断される場合
- ・ その他、当社が本サービスの利用に相応しくないと判断する場合

第 5 条(自己責任の原則)

利用者は、本サービスの利用とそのサービスを利用してなされた行為(利用者が第三者を通じて行う利用その他の行為を含みます。)とその結果について一切の責任を負います。

第 6 条(サービス提供の変更・中止)

当社は事前通知なしに、本サービスの全部または一部の提供を変更・中止することがあります。この場合、変更・中止に伴う利用者または他者からの損害賠償の請求を免れるものとします。

第 7 条(パスワードの設定、ID およびパスワードの管理)

- (1) 利用者は、当社から付与された仮パスワードを用いて個人情報設定ページにアクセスし、速やかに新たなパスワードに変更、設定するものとします。
- (2) 利用者は、ID およびパスワード(仮パスワードを含みます)の使用および管理について一切の責任を負います。利用者の ID およびパスワード使用、管理上の過誤、第三者の盗用等によって利用者に生じた損害については、当社および事務局は何らの責めを負いません。利用者に通知した ID と仮パスワードおよび自己で設定したパスワードにより本サービスのウェブサイト(以下「本サイト」といいます。)にアクセスがあった場合には、利用者の利用とみなすものとし、利用者はその利用にかかる一切の費用と責任を負うものとします。利用者は、ID およびパスワードを第三者に利用させ、貸与、譲渡、質入れ等をしてはならないものとします。

- (3) 利用者は、ID およびパスワードが第三者に盗用されていることまたは盗用されたことを知ったとき、および、盗用され、または盗用された疑いがあるときは、速やかに事務局に通知することとします。その場合、利用者は直ちに当該パスワードを新たなパスワードに変更、設定するものとします。当社および事務局は、利用者の ID およびパスワードが第三者に使用されたことによって、利用者が被る損害については、利用者の故意過失の有無にかかわらず一切の責任を負いません。

第 8 条(登録情報の変更の届出)

利用者は、事務局に登録された利用者の情報に変更があった場合は、変更後の情報を事務局に通知しなければなりません。利用者は、登録情報変更の手続を怠った場合に、当社および事務局からの通知が不到達になっても、通常到達すべき時に通知が到達したとみなされることをあらかじめ承諾します。当社および事務局は利用者が登録情報変更の手続を怠ったことにより生じた一切の損害について責任を負いません。

第 9 条(本サービスの内容)

- (1) 利用者は、当社が管理する所定のサーバーコンピュータにアクセスし、本規約に従い、これに格納されている利用者向けのコンピュータプログラムもしくはデータを使用または閲覧することができます。
- (2) 本サービスは通常 24 時間、365 日提供します。ただし、サーバーのメンテナンスなどのために、一時緊急的に本サービスを停止する場合があります。予定されたメンテナンスに関しては、1 週間前に掲示板により通知しますが、緊急時には予告無く、本サービスを停止することがあります。
- (3) 当社および事務局は、本条に基づき当社または事務局が行った措置に基づき利用者に生じた損害について一切の責任を負いません。

第 10 条(解約について)

当社は、利用者が提出する解約届けを受け取った日をもって解約日と致します。受講期間に応じ、受講実績額、解約手数料、教材費等を計算し、指定の口座にお振込みを致します。振込みが完了するまで、2 ヶ月以上かかる場合がございます。予めご了承下さい。

第 11 条(個人情報の取扱)

当社は、利用者の個人情報を、別途定める個人情報保護ポリシーに従い取り扱います。

第 12 条(リンクの扱いについて)

本サービスにおいて設定するリンク先、および本サイトが設定を受けるリンク先であって第三者が主催するホームページは、当社の管理下にあるものではなく、当社は当該ホームページについて一切責任を負うものではありません。

第 13 条(著作権)

本サービスについてのすべての内容に関する著作権は、当社に帰属します。事前に当社の書面による明示的な承諾を得ない限り複製・転用・および第三者への配布等の行為を禁止します。尚、利用者が本サービスで行った書き込み、投稿等について、当社は無償でこれらを使用できるものとします。

第 14 条(免責事項)

当社は、本サービスにおいて提供するすべての情報についていかなる保証も致しません。本サービスの内容は当社がその時点で提供可能なものとし、利用者に対する責任は、利用者が支障なく本サービスを利用できるよう、善良なる管理者の注意をもって本サービスを運営することに限られるものとします。本サービスの利用によって利用者、または第三者がいかなる損害を受けた場合にも、当社は一切損害賠償等の責任を負わないものとします。消費者契約法の適用その他の理由により当社が利用者に対して損害賠償責任を負う場合においても、当社の賠償責任は、損害の事由が生じた時点から遡って過去 6 ヶ月の期間に利用者から現実に受領した本サービスの対価の総額を上限とします。

第 15 条(合意管轄裁判所)

利用者と当社との間で紛争が生じた場合には、双方が誠意を持って解決にあたるものとし、解決が困難かつ訴訟の必要が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 16 条(準拠法)

本利用規約の解釈、適用については日本法を準拠法とします。



FAX

お申込 年月日

年 月 日

受付番号：

米国大学奨学金プログラム

国内事前英語研修 受講登録申込書

私は、留学英検のご利用について、及びその利用規約を確認、同意しましたので、
奨学金プログラムの国内事前英語研修（留学英検プログラム）の受講申し込みを致します。

※受講希望のステージに ☒ をしてください。

	受講講座名	商品構成	数量	現金価格（円）
☐	ファーストステージ 初級者 TOEFL iBT 45 点以下	EPSAQ 留学英検 1st Stage	1	330,000 円
		教材	1	40,000 円
		お支払い総額（税別 / 税込）	370,000/407,000 円	
☐	セカンドステージ 中級者 TOEFL iBT 61 点以下	EPSAQ 留学英検 2nd Stage	1	330,000 円
		教材	1	40,000 円
		お支払い総額（税別 / 税込）	370,000/407,000 円	
☐	サードステージ 上級者 TOEFL iBT 61 点以上	EPSAQ 留学英検 3rd Stage	1	340,000 円
		教材	1	40,000 円
		お支払い総額（税別 / 税込）	380,000/418,000 円	

※太枠内をご記入下さい。また、印鑑漏れにはご注意下さい。

申込者	お名前	フリガナ	自宅TEL () -
		印	携帯TEL () -
		生年月日 年 月 日 (歳)	性別 男・女
	ご住所	フリガナ	パスワード（数字4ケタ）
〒			
E-Mail		@	

お問合せ先	販社コード	
	販売会社名	入金確認日 年 月 日
	住所	
	電話	
	代表者氏名	

備考

米国大学奨学金プログラム 事前英語研修

EPSAQ 留学英検

English Program
for Studying Abroad Qualification

個人情報の取扱いについて（必ずお読みください）

当社では、個人情報保護法に基づき、プライバシーポリシー（個人情報保護方針）において申し込み者の個人情報の取得及び利用、利用目的、第三者提供、管理、照会、開示、変更、利用停止、削除等について以下の通り取り扱います。

(1) 個人情報の取得及び利用について

当社は、適法かつ公正な手段によって個人情報を取得し、以下に記す利用目的の範囲内で業務の遂行上必要な限りにおいて利用いたします。当社は、個人情報の取扱いを第三者に委託する場合には、当該第三者につき厳重な調査を行った上、秘密を保持させるために適正な監督を行います。

(2) 個人情報の利用目的について

申し込み者が留学相談、申し込み、留学商品及びサービスをご利用いただく際、申し込み者の名前、年齢、生年月日、住所、電子メールアドレス、電話番号、ファックス番号、職業、勤務先または身分証明書等の各個人情報の提供をお願いする場合があります。これらは、希望される留学商品やサービスを当社が提供する場合に必要な情報です。また、申し込みをする際には、留学先への入学手続き上必要となる、日本での申し込み者の最終学業成績、健康診断書、財政証明書等の提出をお願いする場合があります。さらに運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスを受領するための手続きに必要な範囲内で利用します。いずれの場合も、必要最低限の事項を除き、申し込み者の個人情報を当社へ提供いただくか否かについては、申し込み者自身が選択できるものであり、申し込み者自身に判断を委ねます。その他当社では、より良い留学商品の開発のためのマーケット分析やアンケート調査、そして当社及び当社と提携する企業やグループ会社の商品・サービスのご案内等を申し込み者にお届けするため、あるいは、留学帰国後のご意見やご感想の提供をお願いするなど、申し込み者の個人情報を利用させていただく場合があります。なお、申し込み者から提供いただけない個人情報の内容によっては、当社の商品・サービスをご利用いただけない場合があります。

(3) 個人情報の第三者提供について

当社は、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に申し込み者の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。当社は、申し込み者へ留学商品・サービスを提供する上で必要と判断した場合は、申し込み者が

提供した申し込み者の名前、年齢、生年月日、住所、電子メールアドレス、電話番号、ファックス番号、職業、勤務先または身分証明書等の各個人情報を、あらかじめ当社との間で秘密保持契約を結んでいる企業（航空会社、ビザ代理申請会社、現地手配会社等の業務委託先）に開示いたします。ただし、次のいずれかの場合を除いて、申し込み者が提供した個人情報を第三者に開示することはありません。次の②項と③項のような例外事項については、開示する場合、個人情報保護管理者の責任の下において行います。

① 申し込み者本人が個人情報の開示に同意している場合

② 法令により開示が求められた場合

③ 申し込み者本人または公衆の生命、健康、財産などの利益を保護するために必要な場合

④ 統計資料等のように個人を特定することが不可能な状態で開示する場合

(4) 個人情報の管理について

当社は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理します。個人情報の紛失、破壊、改ざん、毀損及び漏洩等を防止するため、不正アクセス、コンピュータウィルス等に対する適正な情報セキュリティ対策を講じ、合理的な範囲内で適切な安全対策を講じます。また当社は、個人情報の持ち出し、外部への送信等による漏洩を防止します。申し込み者が提供した個人情報の内容を、申し込み者の同意を得ずして変更することはいたしません。さらに、情報処理を外部企業に委託する場合も同様です。

(5) 個人情報の照会・開示・変更・利用停止・削除について

当社は、申し込み者が自己の個人情報について、照会・開示・変更・利用停止・削除等を求める権利を有していることを認識し、これらの要求がある場合は、異議なく速やかに対応します。その際は、個人情報の提供者本人であることを確認させていただきます。なお、要望に従って個人情報を変更・利用停止・削除等した場合は、当社の商品やサービスを利用できない場合があります。

(6) 個人情報保護管理者

当社では、個人情報保護管理者を次の通り定めています。

全研本社株式会社 個人情報保護管理責任者 鈴木 徹

連絡先：03-3349-1641

e-mail：privacy@zenken.co.jp

■ お問い合わせ先